

戦中の津山での高校生活を描く

## 津山城（鶴山公園）〔津山市〕

ぼくらの学校は、岡山県北部の人口五万の城下町津山市にある県立の商業学校で、町の北郊に展けた田圃のまん中に建っていたから、季節になれば、隣接した旧藩主の庭園をはじめとして、至るところに桜は咲いた。とりわけ、すこし離れた城址の公園は近隣にきこえた花の名所で、満開ともなると、そのピンク色を何層にも積み重ねた巨大なデコレーションケーキのような全景が、町のどこからでも眺められた。

津山城は、本能寺の変で討死した森蘭丸の弟森忠政が、鶴山（つるやま）に築いた平山城です。明治の廃城令で、建造物は取り壊されましたが、地上から45mに及ぶ立派な石垣が当時の面影を残しています。

天守の南東側の備中櫓（びっちゅうやぐら）が、築城400年の記念事業として復元され、平成17年春から一般公開されています。

城跡は『さくら名所百選』にも選ばれた西日本有数の桜の名所となっていて、桜の季節には毎年多くの人々が訪れ、津山のシンボリックな場所になっています。  
「津山市公式観光サイト つやま小旅」より



写真提供 岡山県観光連盟

## 衆楽園（旧津山藩別邸庭園・国指定名勝）

津山藩二代目藩主森長継（ながつぐ）が、明暦年間（1655～57）頃にした廻遊式の大庭園。

元禄11年（1698）松平家が藩主となって以後幕末まで、家臣や他藩・他家からの使者を謁見するための「御対面所（ごたいめんしょ）」または、藩主の「隠居所」の庭園として使われ、明治3年（1870）に「衆楽園」と命名し、公開。現在も市民や観光客に親しまれている。

参考：現地説明看板



写真提供 岡山県観光連盟